



東員第一中学校  
511-0242  
三重県員弁郡東員町  
六把野新田557番地  
Tel 0594-76-2303  
Fax 0594-76-9711  
E-mail toin1-jimu@mie-toin.ed.jp

学校長：島田真也  
職員数：43人  
児童数：418人  
学級数：15学級



令和6年度 学校教育目標

## 自主・自立・自律～自ら未来を語る生徒を育てる～

4部連携図

研修部:「わからない」から始まる授業の実現

今年度のテーマ:「めあて」と「振り返り」

合言葉 1:「安心・いきいき」

- ①安心して過ごせる教室空間の構築⇒学習集団作りの徹底、②関わり合う力の育成⇒意図のある小集団活動
- ③学び合う力の育成⇒教師は喋り過ぎない。適切に生徒を見取り、つなげる。「生徒:教師=8:2」の授業を目指す。

合言葉 2:「愛情いっぱい」

- ①16年一貫教育プランの実践⇒自分を客観的に見る力を育成する。(メタ認知の育成)
- ②東員町の指導理念に基づく実践⇒自己肯定感、自己有能感を育み、愛情一杯に育てる。

合言葉 3:「リーディングスキル」

- ①読み解く力の育成⇒深い思考を促す課題の提示、②伝え合う力の育成⇒自己表現や仲間と対話する場面を授業内に作る。

生指部:誰もが安心して  
過ごせる空間の創造

生活部:自分の思いを語る  
生徒の育成

学習部及び人権・道徳部:豊かな人間性と確かな学力を身に付け、  
自信を持って未来へ進める生徒の育成

### ①年間生活指導重点項目に基づいた生活指導の実施

- ・交通安全指導(登下校指導)
- ・SNSに関わる指導
- ・長期休みに向けた指導

### ②生活指導担当を中心とした指導体制・情報共有体制

- ・学年生活指導担当のリーダーシップの育成
- ・指導内容のデータベース化

### ③生活委員会と積極的な連携

- ・交通安全教室・生活習慣チェック
- ・自転車点検
- ・一中ネットルール宣言の継承

### ④QU アンケートの分析・活用

- ・学年会/校内研修会での分析活動

### ⑤教師力UPの研修の充実

### ①生徒主体の安心できる関係の構築

- ・生徒会主体の授業改善
- ・生活部主体のプチ学級経営研修

### ②誰もがリーダーとフォロワーでいきいき

- ・執行部主体の生徒会行事の企画・運営
- ・室長会主体の学年行事の企画・運営
- ・班長会の活用
- ・朝の会・帰りの会の活用

### ③みんなが自分の思いを語る ことができる生徒会行事

- ・執行部主体の生徒会行事
- ・室長会主体の学年行事

### 学習部⇒学力分析

#### ①テスト分析・学力分析

- ・各種テスト分析
- ・D層生徒の把握
- ・学習支援方法の提示
- ・テスト計画表作成

#### ②定期テストデジタル採点の運用

- ③3観点成績処理の全職員共有化
- ④ICT活用授業&環境整備

### 学習部⇒キャリア教育

#### ①基礎学力・学習習慣の定着

- ・朝の帯学習(朝読・小テスト)の実施
- ・家庭学習(テキスト学習/6行日記)の実施

#### ②未来に希望の抱けるキャリア教育

- ・1年生⇒「進路ガイダンス」、「職業調べ」、「職業インタビュー」、「就活体験学習」など
- ・2年生⇒「進路ガイダンス」、「技能体験学習」、「〇〇年後の自分を考える」など
- ・3年生⇒「進路ガイダンス」、「保育実習」、「面接練習」など

### 人権道徳部

#### ①人権教育の推進

- ・系統性のある人権学習の企画
- ・東員町こどもの権利条例学習会の企画
- ・人権フォーラムの企画・運営
- ・仲間作りHRの企画

#### ②「考え・議論する」道徳の探究

- ・道徳指導案統括
- ・全員道徳の計画・実施
- ・外部講師を招いての道徳研修

# 「わからない」から始まる授業の実現

～3つの合言葉・手立てをもとに進める授業実践～

## 合言葉 1:安心・いきいき

### ① 安心して過ごせる教室空間の構築

□以下の掲示物を生徒達に示し、**学習集団作り**を行うことで、**授業が誰にとっても安心して受けられるものにする。**

東員第一中学校 授業規律 9項目		東員第一中学校 学びの作法	
①チャイムがなる3分前に授業の準備をして着席する。	②授業の始めと終わりのあいさつを姿勢を正して、きちんと行う。	③正しい姿勢で座る。(足を組んだりせず、背筋を伸ばして座る)	④わからないときは「自分から」友達に聞く。(待たない) 「わからないから教えて!」「それ、どうやるの?」「これどういう意味?」「まだわからないから、もう1回教えて!」
④はっきりと返事をし、みんなに聞こえる声で話す。	⑤話す人を見ながら最後まで話を聞く。	⑥無駄話や手遊びなど、授業に関係のないことをしない。	⑤きかれたら相手が納得するまで説明しよう。 相手の考えに寄り添って、相手が納得できるように説明する。「～さんは、どこでつまづいているのかな?」と考える。「ここまで分かった?」と聞いてみる。 絵や図をかきながら(示しながら)説明する。
⑦授業に必要なものは机の上に置かない。	⑧授業中に勝手に自分の席から離れない。	⑨自分の言動は周りをハッピーにしているか常に考える。	⑥自分の考えと比べながら、優しい気持ちで相手の考えを聴こう。 (自分の考えとどこがちがうのかな?どこでそう思ったのかな?～さんが言いたいことは、つまり～ということなんだな。)

### ② 関わり合う力の育成

□他者との関わりでしか得られない学びを実現するために、**教科の本質に即して、意図のある小集団を活用した協働的な学び**を行う。(ICT 機器の有効活用)

### ③ 学び合う力の育成

□学び合いの中で3つの姿を教師・生徒は目指していく。

①「わからない」と言える授業、安心できる空間を作る教師

②生徒の「わからない」をつなぎ、適切に見取ることができる教師

③「わからない」と身を乗り出して質問する生徒

④見通しを持って粘り強く取り組み、自分の学習を良い方向に調整できる生徒

□授業の中では不必要な内容を削ぎ落とし、教師は喋り過ぎない。「**生徒:教師=8:2**」を理想とする。

## 合言葉 2:愛情いっぱい

### ① 16年一貫教育プランの実践

自分を**客観的に見る力**を育成する。

### ① 東員町の指導理念の実践

子どもたちの**基本的信頼感**を裏切ったり、**自己有能感**を否定したりするようなことは、絶対にしない。  
**愛情をいっぱい**かけながら発達をサポートする。

## 合言葉 3:リーディングスキル

### ① 読み解く力の育成

□授業の初めに必ず「**めあて(今日の目指す姿)**」、授業の終わりに必ず「**振り返り**」を行い、**教科の特性に応じた、「見方・考え方」**を働かせながら、**深い思考**を促す授業を展開する。



### ② 伝え合う力の育成

□自分の考えを、**自己表現(話す、書く)**する場や**仲間と対話**する場面を授業内に作る。

## 3つの手立てで授業研究を進めます

### ①外部講師による授業研及び模擬授業

□岐阜聖徳学園大学、玉置教授に**年間3回**、来ていただき授業研究を行う。

※各学年で1名研究授業者を決めてもらいます。

テーマ:「**指導と評価の一体化**」  
⇒「**めあて**」と「**振り返り**」



### ②前・後期 授業作り研修

□研究授業前には**模擬授業**を実施し、**研究授業のねらい**などについて**共通認識**を図る。(授業者のニーズに合った**模擬授業**を行う。)

□全職員が**目標やテーマ**を持って、**1年間に2回、2週間程度**の期間で公開授業を行う。また、公開期間中は以下の手立てを講じる。

①**参観シート**を使って、**目的を持って授業を参観**する。

②**授業作り研修**の始めと終わりに必ず**取り組みの方向性の確認**や**振り返り**を交流する時間を設ける。

### ③学級(学年)経営研修

□**1年間に3回**、学期の始めに**学級(学年)の状況**を振り返り、**学級(学年)経営**の成果と課題を明らかにする。また、その中では、**具体的な実践方法**を交流する時間を作る。(年間3回以外にも各部と連携をして、学級経営における実践力を身に付ける研修を定期的実施していく。)

4月: 入学式  
生徒会利エーション  
学調・IRT・ｽﾀｼﾞｲﾃｯｸ  
授業参観  
評議員会

5月: 修学旅行〔3年〕  
キャリア学習〔2年〕  
弁当の日〔1年〕  
中間テスト  
QU調査①

6月: 都市体育大会  
小中連絡会  
実力テスト①  
生徒会授業づくり

7月: 期末テスト  
部活壮行会  
桑員体育大会

8月: 夏休み研修会  
補充学習会

9月: 実力テスト②  
QU調査②

10月: 体育祭  
桑員新人体育大会  
実力テスト③  
授業参観中間テスト  
3年文化行事  
評議員会

11月: 実力テスト④  
人権フォーラム  
校内人権学習期間  
期末テスト  
保育実習〔2年〕

12月: 三者懇談会

1月: 実力テスト⑤  
QU調査③  
入学説明会

2月: 実力テスト⑥  
3年三者懇談会  
合唱祭三送会  
期末テスト

3月: 評議員・評価委員会  
卒業式  
公立後期選抜試験